

英語学専攻【受験準備用参考書】

○英語学○

- Adger, D. (2003) *Core Syntax: A Minimalist Approach*. Oxford University Press.
- Carnie, A. (2021) *Syntax: A Generative Introduction*. 4th ed. Wiley-Blackwell.
- Davenport, M. and S. J. Hannahs (2015) *Introducing Phonetics and Phonology*. 3rd ed. Routledge.
- Isac D. and C. Reiss (2013) *I-Language: An Introduction to Linguistics as Cognitive Science*. 2nd ed. Oxford University Press.
- Larson, R. K. (2009) *Grammar as Science*. MIT Press.
- ウェルズ, J.C. (J.C. Wells) 著, 長瀬監訳 (2009)『英語のイントネーション』 研究社.
- 大津由紀雄・他 (2002)『言語研究入門 生成文法を学ぶ人のために』 研究社.
- カー, P. (Carr, Philip) 著, 竹林・清水訳 (2002)『英語音声学 音韻論 入門』 研究社.
- 川越いつえ (1997)『英語の音声を科学する』 大修館.
- 窪菌晴夫 (1998)『音声学・音韻論』(日英語対照による英語学演習シリーズ) くろしお出版.
- 鈴木英一 (1990)『統語論』 開拓社.
- 東京大学言語情報科学編 (2011)『言語科学の世界へ ことばの不思議を体験する 45 題』 東京大学出版会.
- 中井 悟・上田雅信 (2004)『生成文法を学ぶ人のために』 世界思想社.
- 中村捷・金子義明・菊地朗 (1989)『生成文法の基礎—原理とパラ미터のアプローチ』 研究社.
- 原口庄輔・他 (2000)『ことばの仕組みを探る』 研究社.
- 福井直樹 (2012)『新・自然科学としての言語学—生成文法とは何か』(ちくま学芸文庫) 筑摩書房.

○英米文学○

- 石塚久郎編『イギリス文学入門』 東京、三修社、2014 年。
- 板橋好枝・高田賢一編『はじめて学ぶアメリカ文学史』 京都、ミネルヴァ書房、1991 年。
- 金関寿夫著『アメリカ現代詩を読む』 東京、思潮社、1997 年。
- 川本皓嗣著『アメリカの詩を読む』 東京、岩波書店、1998 年。
- 原成吉著『アメリカ現代詩入門』 東京、勉生出版、2020 年。
- 諏訪部浩一編『アメリカ文学入門』 東京、三修社、2013 年。
- 現代演劇研究会編『現代英米の劇作家たち』 東京、英潮社、1990 年。
- 大場建治編『シェイクスピア選集』 全 10 巻 東京、研究社、2004-2009 年。
- Beach, Christopher. *The Cambridge Introduction to Twentieth-Century American Poetry*. New York: Cambridge University Press, 2003.

○英語文化○

- Ashcroft, Bill, Gareth Griffiths and Helen Tiffin, *The Empire Writes Back: Theory and Practice in Post-colonial Literatures*, 2nd edition. London & New York: Routledge, 2002. (Especially read the following chapters; Introduction, Chaps 1, 2 and 6.)
- Ashcroft, Bill, Gareth Griffiths and Helen Tiffin, ed., *The Post-Colonial Studies Reader*, 2nd edition, London & New York: Routledge, 2006.

Beasley, Chris. *What is Feminism?: an Introduction to Feminist Theory*, London: Sage Publishing, 1999.

Fryer, Peter. *Staying Power: The History of Black People in Britain*, London: Pluto Press, [1984] 2010.

Procter, James. (ed.) *Writing Black Britain 1948-1998*, Manchester: Manchester University Press, 2000.

Schechner, Richard. *Performance Studies: An Introduction*, 3rd edition, New York: Routledge, 2013.

Young, Robert J. C. *Postcolonialism: A Very Short Introduction*, Oxford: Oxford University Press, 2003.

江原由美子、金井淑子編『フェミニズムの名著 50』東京、平凡社、2002年。

高橋雄一郎『パフォーマンス研究—身体化される知』東京、せりか書房、2005年。

竹村和子編『ポストフェミニズム』東京、作品社、2003年。

竹村和子『フェミニズム』東京、岩波書店、2000年。

○コミュニケーション論○

池田理知子編『現代コミュニケーション学』有斐閣、2006

池田理知子・松本健太郎編『メディア・コミュニケーション論』ナカニシヤ出版、2013

池田理知子編『よくわかる 異文化コミュニケーション』ミネルヴァ書房、2010

遠藤英樹・江藤茂博・松本健太郎編著『メディア文化論』ナカニシヤ出版、2013

柿田秀樹・若森栄樹編著『<見える>を問い直す』彩流社、2017

佐々木輝美『メディアと暴力』勁草書房、1996

田崎篤郎・児島和人編著『マス・コミュニケーションの効果研究の展開』北樹出版、2003

本橋哲也『カルチュラル・スタディーズへの招待』大修館書店、2002

松本健太郎編著『理論で読むメディア文化:「今」を理解するためのリテラシー』新曜社、2016

高馬京子・松本健太郎編著『〈みる/みられる〉のメディア論——理論・技術・表象・社会から考える視覚関係』ナカニシヤ出版、2021

吉見俊哉『メディア文化論—メディアを学ぶための15話』有斐閣、2004

*A Companion to Art Theory*. eds. Paul Smith and Carolyn Wilde. Oxford: Blackwell, 2002.

Catherine Belsey, *Poststructuralism: A Very Short Introduction*. Oxford UP, 2013. (キャサリン・ベルジー『ポスト構造主義』折島正司訳、岩波書店、2003)

John Berger, *About Looking*. Bloomsbury Publishing PLC, 2009. (ジョン・バージャー『見るということ』飯沢耕太郎監修、笠原美智子訳、2005)

John Berger, *Ways of Seeing*. Penguin Classics, 2008. (ジョン・バージャー『イメージ』伊藤俊治訳、1986)

Jonathan Crary, *Techniques of the Observer*. Rep. The MIT Press, 1992. (ジョナサン・クレーリー『観察者の系譜』遠藤知巳訳、以文社、2005)

John Fiske, *Introduction to Communication Studies*. Second Ed. Routledge, 1990.

Sonja K. Foss, Karen A. Foss, and Robert Trapp. *Contemporary Perspectives on Rhetoric*. Third Ed. Prospect Heights, IL: Waveland Press, Inc, 2001.

Marshall McLuhan. *Understanding Media*. Rep. The MIT Press, 1994. (マーシャル・マクラーハン『メディア論—一人間の拡張の諸相』栗原裕・河本仲聖訳、みすず書房、1987)

*Vision and Visuality*. ed. Hal Foster. Seattle: Bay Press, 1988. (ハル・フォスター編『視覚論』樽沼範久訳、2007)

○国際関係論○

有賀貞（2019）『現代国際関係史—1945年から21世紀初頭まで』東京大学出版会。

入江昭（1991）『新・日本の外交』中央公論新社。

長谷川雄一・金子芳樹編（2019）『現代の国際政治{第4版}—変容するグローバル化と新たなパワーの台頭』ミネルヴァ書房。

山田高敬、大矢根聡編著（2011）『グローバル社会の国際関係論 新版』有斐閣。

John Baylis, Steve Smith, and Patricia Owens, *The Globalization of World Politics: An Introduction to International Relations*: 6th edition (Oxford:Oxford University Press, 2014).

Anthony Best, Jussi Hanhimaki, Joseph A. Maiolo and Kristen E. Schulze, *International History of the Twentieth Century and Beyond*: 2nd edition (Routledge, 2008).

田中治彦他編『SDGsと開発教育』東京、学文社、2016。

西川潤『人間のための経済学』東京、岩波書店、2000。

幡谷則子編『ラテンアメリカの連帯経済』東京、ぎょうせい、2019

○英語教育○

Saville-Troike, M. & K. Barto, (2017). *Introducing Second Language Acquisition* (3rd ed.). Cambridge.

Brown, H.D. & K. Lee, (2015). *Teaching by Principles: An Interactive Approach to Language Pedagogy* (4th Edition) (4th ed.). Pearson Education ESL.

VanPatten, B. & Benati, A.G. (2015). *Key Terms in Second Language Acquisition* (2nd ed.). Bloomsbury.

Cook, V. & Singleton, D. (2014). *Key Topics in Second Language Acquisition*. MM Textbooks.

Ellis, R. (2008). *Second Language Acquisition* (2nd ed.). Oxford University Press.

Lightbown, P. M., & Spada, N. (2013). *How Languages are Learned* (4th ed.). Oxford University Press.

Mackey, A., & Gass, S. M. (2015). *Second Language Research: Methodology and Design* (2nd ed.). Rutledge.

望月昭彦（編著）久保田章・磐崎弘貞・卯城祐司（2018）『新学習指導要領にもとづく英語科教育法』（第3版）大修館書店。

浦野研・亘理陽一・田中武夫・藤田卓郎・高木亜希子・酒井英樹（2016）『はじめての英語教育研究』研究社。

廣森友人（2015）『英語学習のメカニズム — 第二言語習得研究にもとづく効果的な勉強法』大修館書店。

竹内理・水本篤（2014）『外国語教育研究ハンドブック — 研究手法のより良い理解のために』松柏社。

白畑知彦・若林茂則・村野井仁（2010）『詳説 第二言語習得研究:理論から研究法まで』研究社。

門田修平（2010）『SLA 研究入門:第二言語の処理・習得研究のすすめ方』くろしお出版。

佐々木嘉則（2010）『今さら訊けない...第二言語習得再入門』凡人社。

白畑知彦・富田祐一・村野井仁・若林茂則（2009）『改訂版 英語教育用語辞典』大修館書店。

三浦省五（監修）前田啓朗・山森光陽（編著）磯田貴道・廣森友人『英語教師のための教育データ分析入門 — 授業が変わるテスト・評価・研究』大修館書店。